Ⅷ 研究発表業績

1 学会等研究発表

年月日	学会等の名称 (開催地)	演題	発表者
令和3年 9月10日		北浦における底泥からのリン溶出速度の特 徴	主任研究員 北村 立実 (Web 口頭)
9月15日 ~17日		茨城県におけるPM2.5高濃度事例の発生要因 解析について	主任 小田 直哉 (Web ポスター)
10月29日	全国環境研協議会関 東甲信静支部水質専 門部会	山王川の負荷流出特性の変遷について	主任 木村 夏紀 (Web 口頭)
令和4年 2月22日	全国環境研協議会関 東甲信静支部騒音振 動専門部会	百里飛行場に係る航空機騒音実態調査につ いて	大気·化学物質研究室長 田畑 恵 (書面)
3月6日	公開シンポジウム霞 ヶ浦流域研究2022	県内3地区のハス田群の環境負荷とその改 善策の提案	主任研究員 佐野 健人 (Web 口頭)
11	JJ	夏季の北浦における水温成層及び貧酸素水 塊の形成と消失条件の検討	主任研究員 北村 立実 (Web 口頭)
3月10日	全国環境研協議会関 東甲信静支部大気専 門部会	茨城県における有害大気汚染物質(重金属 類)について	主任研究員 豊岡 久美子 (書面)
11	JJ	酸化エチレン・酸化プロピレンのGCMS分析 条件の改良	主任 吉田 彩美 (書面)
3月16日 ~18日		北浦における現場観測データを用いた底泥からのP04-P溶出量算出の試み	主任研究員 北村 立実 (Web 口頭)
IJ	II	牛久沼における近年の水質変動要因	主任 長濱 祐美 (Web 口頭)
"	II	土浦市小河川における浄化導水の効果	流動研究員 古川 真莉子 (Web 口頭)
3月18日	令和3年度日本水環 境学会年会併設研究 集会	北浦流入河川における窒素濃度の長期変動 とそのシミュレーションモデルの構築	主任 大内 孝雄 (Web 口頭)

2 誌上発表

題名	執 筆 者	掲 載 誌
北浦における貧酸素水塊の詳細分布と 貧酸素水域面積の推計*	小室 俊輔、北村 立実、大 内 孝雄、増永 英治、浅岡 大輝、鮎川 和泰、三上 育 英、清家 泰、湯澤 美由 紀、福島 武彦	水環境学会誌、44、 5、157-164 (2021)
Convection of waters in Lakes Maninjau and Singkarak, tropical oligomictic lakes*	Takehiko Fukushima, Fajar Setiawan, Luki Subehi, Muhammad Fakhrudin, Endra Triwisesa, Aan Dianto, Bunkei Matsushita	Limnology, (2021) DOI: 10.1007/s10201-021- 00686-8
Lake water quality observed after extreme rainfall events: implications for water quality affected by stormy runoff*	Takehiko Fukushima, Tatsumi Kitamura, Bunkei Matsushita	SN Applied Sciences 3(11), (2021) DOI: 10.1007/s42452-021- 04823-x
Limiting nutrient and its use efficiency of phytoplankton in a shallow eutrophic lake, Lake Kasumigaura*	Takehiko Fukushima, Bunkei Matsushita	Hydrobiologia 848(5):1-19, (2021) DOI: 10.1007/s10750-021- 04593-y

^{*}査読付き論文